

# 道しるべ

第4号  
平成22年3月

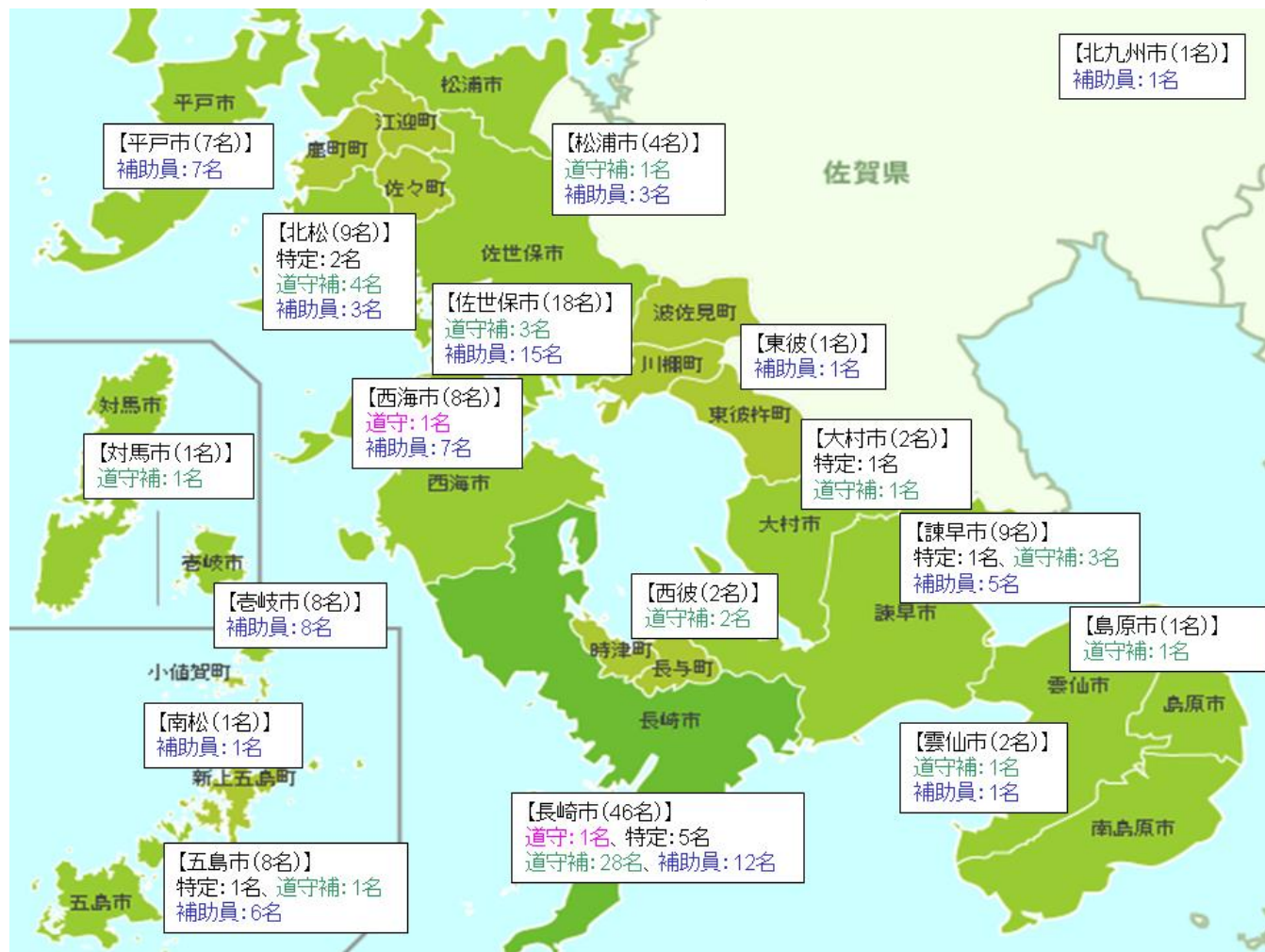
長崎大学工学部 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

## 成果報告会を行いました。

平成22年3月11日(木)、長崎市筑後町のホテルセントヒル長崎で「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット平成21年度成果報告会」を開催しました。報告会には平成20年度道守補・道守補助員認定者、平成21年度の道守補助員、道守補、特定道守、道守講座の受講生のほか、県職員、建設業協会・測量設計業協会加盟者、講師、スタッフ、大学関係者等約100名の出席がありました。

冒頭、長崎大学工学部の清水康博工学部長が、道守養成ユニットの活動目的は、「長崎を訪れた人々に気持ちよく観光をしていただくため、長崎の重要な産業のひとつである観光を支えること」である上に、さらに、「高効率化で低コストの長寿命技術が開発できて、それを動かすための技術者が多く県内で育つことを願っている」と、今後の道守養成ユニットの活動に期待を寄せた挨拶がなされました。

報告会では森田千尋准教授が、平成21年度の取り組み内容等を紹介しました。養成人数は、当初予定を大きく上回り道守補助員が2ヵ年で75人(計画50人)、道守補53人(計画15人)、特定道守10人(計画4人)、道守2人(計画1人)となっていること、また、地域別にみると認定者に偏りがあるため、今後は、各地域に満遍なく認定者を養成することが目標であるとの報告がありました。



地域別における認定者状況

さらに、平成22年度から、道守補以上の資格を有する者(または所属企業)に対し、県の総合評価落札方式において加点対象となる予定であることも報告がありました。

道守補助員として報告していただいたのは平戸市の浦田盛隆さんと吉崎市の藤本喜隆さん。浦田さんは、道守は「道そうじから」と話し、自身の取り組みや植樹祭への参加等を報告されました。また、道守補で(財)長崎県建設技術研究センターの松原健治氏、特定道守では(株)今村組の今村音英氏、道守で扇精光(株)の山田猛氏らが登壇され、それぞれの取り組み内容や今後の課題等について意見を述べられました。

また、基調講演として(財)福岡アジア都市研究所の樗木武氏が、『新たな公としての道守活動の役割』、マテラス青梅工業(株)の鶴田建氏が『コンクリート2次製品業界は道守・環境・長寿命化にいかに関与するか』、大成建設(株)の金子誠二氏が『胸躍る時代が来た、地産地消』と題して、それぞれ講演が行われました。

報告会終了後、意見交換会も行われ、県土木部建設企画課の福田友久課長が「長崎大学のご支援で、昨年度から取り組みが始まり、すでに定着した感がある。皆様のおかげと感謝しています」とご挨拶され、和気あいあいの中で歓談した後、長崎県建設業協会の谷村隆三会長の一本締めで閉会しました。



会場の様子



清水工学部長



森田准教授



意見交換会の様子

## 成果報告会スケジュール

13:00~13:10【開会のあいさつ】

工学部長 清水 康博 教授

13:10~14:35【実施報告】

インフラ長寿命化センター 森田 千尋 准教授

道守補助員 浦田 盛隆 氏、藤本 喜隆 氏

道守補 松原 健治 氏

特定道守 今村 音英 氏、道守 山田 猛 氏

14:50～17:30【基調講演】

財団法人 福岡アジア都市研究所 樗木 武 氏

『新たな公としての道守活動の役割』

マテラス青梅工業 株式会社 鶴田 健 氏

『コンクリート 2 次製品業界は道守・環境・長寿命化にいかに関与するか』

大成建設 株式会社 金子 誠二 氏

『胸躍る時代が来た、地産地消』

主催：長崎大学工学部

共催：長崎県

後援：(財)長崎県建設技術研究センター・(社)長崎県建設業協会

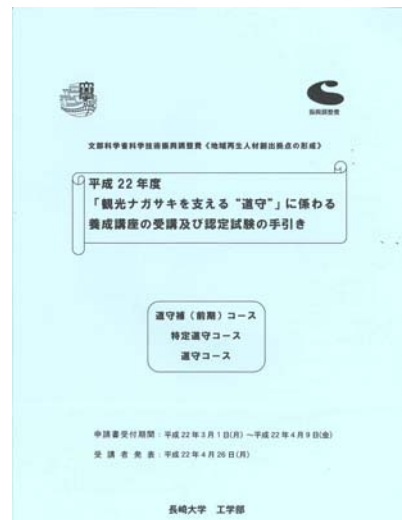
(社)長崎県測量設計業協会・長崎県土木施工管理技士会

## 平成22年度受講生募集締め切り間近

現在、平成 22 年度の受講生の募集を行っています。申請書の受付期間は、3月1日(月)～4月9日(金)まで。現在、募集を行っているのは、道守補(前期)コース、特定道守コース、道守コースの3コースとなっており、道守補助員コースと道守補(後期)コースは、別途募集を行います。

講義内容としては、橋やトンネルなどの道路関連施設などのインフラ構造物の維持管理に関する課題を題材とした講義と、講習および点検実習を中心に進められ、各コースとも全講義終了後に認定試験を行います。いずれも受講料は原則無料ですが、教材費・実習費・保険費等の一部や交通費をご負担いただくことがあります。

募集人員は、道守補(前期)コースが10人、特定道守コースがコンクリート構造コース、鋼構造コースそれぞれ3人程度、道守コースが3人程度。受講希望者は、当センターに問合せください。募集要項をお送りいたします。



募集要項

## 認定後の活動状況

平成 20 年度に認定者された道守補助員、道守補の平成 21 年度の道守認定後の活動<sup>\*1)</sup> 報告(4月～12月間)をお知らせします。報告が多いのが『道に関するボランティアに参加』が43件となっており、皆様の日頃の道守活動への取り組みの意欲が伝わってきます。なお、4月に平成 20 年度の獲得ポイント数や更新までの必要ポイント数を認定者の皆様にお知らせする予定です。

### 平成 21 年度活動報告

道に関するボランティア活動への参加	43 件
道守シートの提出	3 件
道守養成講座特別講演等に参加	7 件
道守養成講座の現場実習に参加	14 件
道の維持管理に関する業務に参加	2 件
道守養成講座に関する講師として参加	29 件

## (※1)道守認定後の活動内容とは？

道守認定の有効期限は、認定後 4 年となっており、認定後の活動には、道に関するボランティア活動等への参加、道守シートの提出、道の維持管理に関する業務への参加などがあります。そして、その活動に対して更新ポイントが与えられます。更新ポイントの獲得は、道守資格の更新条件の一つとなります。現在、道守認定後の活動を記載した「道守認定後の活動と更新について」を改定中であり、認定者の皆様に届くのは、4 月後半になると思います。もうしばらくお待ちください。詳細は、当センター事務局にお問い合わせください。

## 道守のみちのり(1月中旬～3月末)

ここでは、当センターの主な活動内容を紹介します。

- 10/3/21 第四回審査委員会開催
- 10/3/19 五島振興局上五島支所で長崎県職員と新上五島町職員と打合せ
- 10/3/19 東京大学で東京大学石川特任教授、市川特任講師、二宮特任研究員 東京都建設局高木氏、土木研究所木村上氏、岐阜大学村上准教授 と地域 ICT 利活用広域推進事業について打合せ。
- 10/3/12 ながさきサンセットオーシャンロード推進協議会に参加
- 10/3/11 観光ナガサキを支える道守養成ユニット平成 21 年度成果報告会を開催
- 10/3/10 定例会開催会
- 10/2/25 対馬振興局で長崎県職員、対馬市職員と打合せ
- 10/1/15 第四回運営協議会を開催

## 作成者の一言

今回は、出水が担当しました。平成 21 年度の成果報告会も大盛況で終わりホッとしています。しかし、落ち着く暇もなく、5 月から平成 22 年度の道守養成講座が開始するので、その準備が始まりますとともに、また、平成 22 年度には本養成講座の中間審査があります。平成 22 年度以降は、各地域に道守認定者を増やすことが課題の一つであるため、現在、平成 22 年度の道守補(後期)コースの離島開催の検討を行っています。要望があれば皆様の地区での開催も可能かと思っておりますので、お気軽に問合せください。

話は、変わりますが、昨年(第一子)が生まれて父になったのですが、子供が日々成長する中、子育ての難しさを感じながらすごしています。子供の成長を期待するとともに、道守養成講座の成長も期待して私の一言としたいと思います。

## 問合わせ先

長崎大学工学部 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: [michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp) URL: <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori>



※道守養成ユニットの運営は、文部科学省科学技術振興調整費で行っています。